



2012年10月23日
独立行政法人国立がん研究センター

がん専門診療施設の生存率を新形式にて公開

**利用者が見たい情報を選択して表示できる
全く新しいシステム KapWeb による情報公開**

国立がん研究センター（理事長：堀田知光）は、研究開発費研究事業「地域がん専門診療施設のソフト面の評価と公表に関する研究」（主任研究者：千葉県がんセンター三上春夫）において、全国がん（成人病）センター協議会（以下「全がん協」）（会長：堀田知光、がん診療の中核的な役割を担う全国31のがん専門診療施設が加盟する協議会）加盟施設の治療成績の集計を行うとともに、2007年、2008年に公表を行ってまいりました。このたび、1997年～2004年に診断された全がん協加盟施設の院内がん登録のデータ24万件について、利用者が見たい情報を選択して表示できる全く新しい新システム KapWeb による情報公開を開始いたします。

<KapWebの主な機能について>

- ・条件を選択して生存曲線を表示します。

これまで、限定された条件のみで公表されていた生存率が、30以上のがん種、病期、性別、年齢などを選択して、利用者が知りたい情報を表示することができます。また、生存率曲線を表示することで、引き続き再発に注意が必要か、再発の多い時期を乗り切ったのかといった見通しを得ることができます。

- ・がんサバイバー生存率

初発患者さんの生存情報のみならず、治療開始から一定期間生存した患者さんの生存率を表示できます。がんの部位によっては、長く生存した患者さんほどその後の生存率の改善を見ることができます。

<今回追加された情報について>

- ・部位別臨床病期別生存率（2001-2003年症例） ←従来の情報：（1997-2000年症例）
- ・部位別施設別生存率（2001-2003年症例） ←従来の情報：（1997-2000年症例）

部位別 5 年生存率（全症例）

胃（70.4%）、大腸（73.4%）、肝（32.1%）、肺（40.6%）、乳（女性 90.0%）

施設別生存率施設一覧：北海道がんセンター、岩手県立中央病院、宮城県立がんセンター、山形県立中央病院、茨城県立中央病院、栃木県立がんセンター、群馬県立がんセンター、埼玉県立がんセンター、千葉県がんセンター、国立がん研究センター東病院、国立がん研究センター中央病院、がん研有明病院、東京都立駒込病院、神奈川県立がんセンター、新潟県立がんセンター新潟病院、石川県立中央病院、福井県立病院、愛知県がんセンター、名古屋医療センター、滋賀県立成人病センター、大阪府立成人病センター、国立病院機構大阪医療センター、兵庫県立がんセンター、呉医療センター、山口県立総合医療センター、四国がんセンター、九州がんセンター、大分県立病院

○掲載サイトについて

全がん協ホームページ (<http://www.zengankyo.ncc.go.jp/>) より、参照できます。

<KapWeb>

- ・ <https://kapweb.chiba-cancer-registry.org/web/general/top.aspx> にて、参照できます。
- ・ 「全がん協ホームページ」 > 「全がん協生存率調査」 > 「全施設生存率（KapWeb）」からご覧いただけます。

<部位別臨床病期別生存率・部位別施設別生存率>

- ・ <http://www.gunma-cc.jp/sarukihan/seizonritu/> にて、参照できます。
- ・ 「全がん協ホームページ」 > 「全がん協生存率調査」 > 「施設別生存率」からご覧いただけます。

本件の内容に関するお問い合わせ先

千葉県がんセンター研究局がん予防センター（疫学研究部）
三上春夫（がん研究開発費研究班班長）TEL043-264-5431（代表）

報道対応：国立がん研究センター総務部総務課広報室

TEL：03-3542-2511（代表） URL：<http://www.ncc.go.jp/>